

1 次関数のグラフの切片

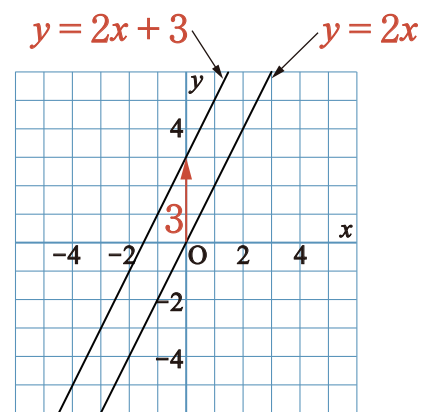
$y=2x$ と $y=2x+3$ の関係は、下の表ようになる。

x	...	-2	-1	0	1	2	...
$2x$...	-4	-2	0	2	4	...
$2x+3$...	0	1	3	5	7	...

$y=2x+3$ のグラフでは、 $y=2x$ のグラフを y 軸の正の向きに 3 だけ平行移動させたものとなる。

$y=ax+b$ のグラフは、 $y=ax$ のグラフを y 軸の正の向きに b だけ平行移動させたものとなる。

$y=ax+b$ のグラフの b を切片といい、
グラフの直線と y 軸との交点の y 座標となる。



1 次関数のグラフの傾き

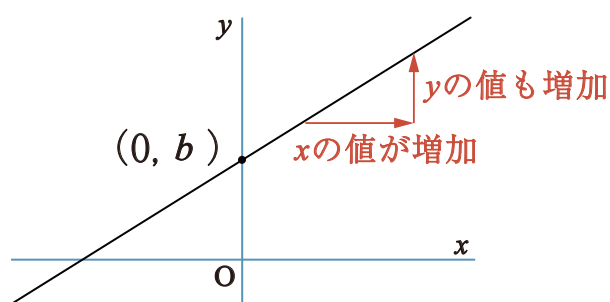
$y=ax+b$ のグラフの a は、 x の値が 1 増加するときに、 y の値がいくつ増加するかをあらわす。

$y=ax+b$ のグラフの a を傾きといい、グラフの直線の傾きぐあいをあらわす。

(1) $a > 0$ のとき、 x の値が増加すると、 y の値も増加する
右上がりのグラフとなる。

(2) $a < 0$ のとき、 x の値が増加すると、 y の値は減少する
右下がりのグラフとなる。

(1) $a > 0$ のとき右上がりのグラフ



(2) $a < 0$ のとき右下がりのグラフ

